

「Team HRC」が鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 43 回大会で優勝

「2022 FIM^{※1} 世界耐久選手権“コカ・コーラ” 鈴鹿 8 時間耐久ロードレース 第 43 回大会（以下、鈴鹿 8 耐）」が、8 月 7 日（日）に三重県・鈴鹿サーキットで開催され、「Team HRC（長島 哲太、高橋 巧、イケル・レクオーナ組）」が優勝しました。Honda にとって、2014 年以來 8 年ぶり通算 28 回目となる鈴鹿 8 耐の優勝となります。



Team HRC（高橋巧、長島哲太、イケル・レクオーナ）



CBR1000RR-R FIREBLADE SP の走り

優勝した Team HRC は、2018 年に Honda のワークスチーム^{※2}として 10 年ぶりに鈴鹿 8 耐に復帰し、2018 年は 2 位、2019 年には 3 位と 2 年連続で表彰台を獲得しました。

金曜日の計時予選ではトップタイムをマークし、危なげなくトップ 10 進出を決めると、土曜日のトップ 10 トライアルは、計時予選に変更になったものの、長島哲太選手が記録した 2 分 4 秒 934 でポールポジションを獲得しました。

決勝レースでは、スタートライダーを高橋巧選手がつとめ、スタート直後こそはトップを奪われたものの 10 周目にはトップを奪還しました。その後は長島哲太選手、イケル・レクオーナ選手も、終始安定した走りで 2 位との差を堅持しました。そして 19 時 32 分には 214 周を走り、先頭でチェッカーフラッグを受け、Team HRC はポールトゥーウィンでの優勝になりました。

ライダーの高橋巧選手は通算 4 勝目、長島哲太選手、イケル・レクオーナ選手は初めての鈴鹿 8 耐優勝になります。

※1 FIM とは、Fédération Internationale de Motocyclisme（国際モーターサイクリズム連盟）の略称

※2 ワークスチームとは、マシンを製造しているメーカーが運営しているチーム

■ Team HRC 長島 哲太選手

「うれしい以外の言葉が思いつかないです。2021年～22年と CBR1000RR-R SP の開発にかかわらせてもらい、そのポテンシャルを引き出し、見せられたことがうれしいです。Honda のスタッフは、ここまでやるのかというぐらいテストを重ねてきました。その努力に鈴鹿 8 耐の優勝で報いることができました。自分を開発にかかわらせてくれたことに感謝しています。テストを重ねることで成長させてもらいました。3年ぶりの鈴鹿 8 耐で勝ち、強いホンダを見せることができたと思います」

■ Team HRC 高橋巧選手

「2019年の鈴鹿 8 耐は悔しさがずっとありました。なので、勝つことができうれしいです。長島選手が開発したマシンなので、それに慣れ、力を引き出すことが出来なければ、長島選手の足を引っ張ってしまうことになり、嫌だと思っていたので、そうならなかったことにホッとしています。イケルも初めての鈴鹿 8 耐なのに、しっかりと走ってくれました。HRC のスタッフは、ピット作業を含め、僕たちをしっかりと支えてくれ送り出してくれました。かかわってくれた人、すべてに感謝しています。鈴鹿 8 耐で 4 度の優勝をすることができ、また、挑戦させてもらえるなら、尊敬する先輩である宇川さんの鈴鹿 8 耐最多勝の 5 勝に挑戦したいです」

■ Team HRC イケル・レクオーナ選手

「初めての鈴鹿 8 耐で勝てたことが本当に、本当に、本当に嬉しいです。長島選手がチェッカーを受けた瞬間が最高の気分でした。鈴鹿テストから、とても調子がよく、Honda と長島選手が開発したマシンは素晴らしくて、その力を自分が出せるようにと思っていました。セーフティカーが入ったときは、ふたりが築いた差が削られてしまうのかと心配になりましたが、問題なくクリアできました。最高のチームとチームメイトに感謝しています。来年もチャンスをもらえたら、また、鈴鹿に戻ってきたいです」

■ 本田技研工業株式会社 執行職 コーポレートコミュニケーション統括部長

兼 株式会社ホンダ・レーシング (HRC) 代表取締役社長 渡辺康治

「HRC 創立 40 周年の節目の年に優勝できたことを大変うれしく思います。非常に熱い戦いを繰り広げてくれた Team HRC の 3 名のライダー、チームスタッフならびに関係者の皆さん、本当にお疲れ様でした。これからも HRC は、モータースポーツファンの皆様や Honda ファンの皆様のご期待に応えられるようチャレンジしていきますので、変わらぬ応援よろしく申し上げます。

昨日の練習走行中にクラッシュを喫して入院されている、F.C.C. TSR Honda France のジーン・リア選手の 1 日でも早い回復を心よりお祈り申し上げます」